岩手県立博物館第65回企画展

八戸立藩三百五十年記念

ふるさとは岩手
八戸藩の礎となった母と子
～二代藩主南部直政と生母霊松院～

2014年 **6月28日(土)～8月17日(日)**

主催／岩手県文化振興事業団　岩手県立博物館
後援／八戸市教育委員会・盛岡市教育委員会・花巻市教育委員会・岩手町教育委員会・岩泉町教育委員会・紫波町教育委員会・デーリー東北新聞社・岩手日報社

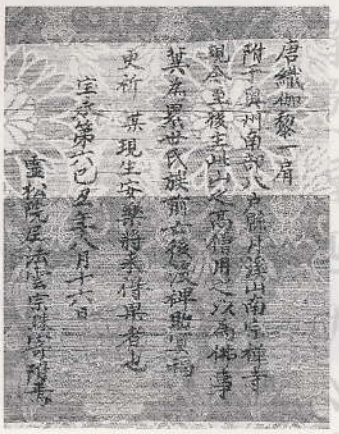
粤在經王號妙法蓮華孕中道而為體豁一
心建都其功也濕草木於法雨其德也滿諸
願於今日三觀用心十乗為行所謂妙法者
塵性蓮忽發傳尊榮於万葉心法常開增恒
沙壽量福廻母公現當有餘縣々濕一味法
雨門々飽甘露乳水

福善寺紺紙金泥法華経隆光序文

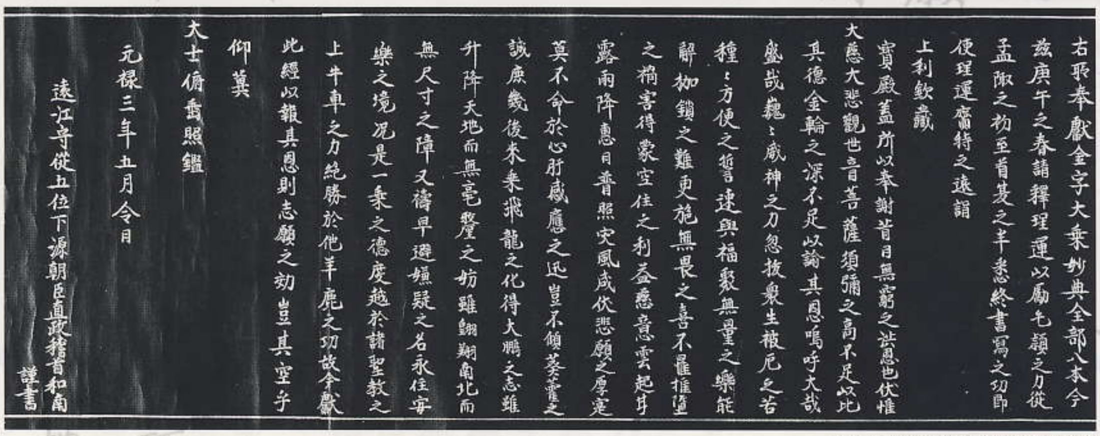
福善寺長谷式十一面観音立像
（写真提供　青森県）

開館時間／9:30～16:30（入館は16:00まで）
休 館 日／月曜日（月曜が休日の場合は開館、翌平日休館）※8月4日・11日は臨時開館
入 館 料／一般310(140)円 学生140(70)円 （ ）内は20名以上の団体割引料金

岩手県立博物館
〒020-0102
岩手県盛岡市上田字松屋敷34番地
電話 019-661-2831 FAX 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/



南宗寺 二十五条袈裟霊松院願文



右所奉獻金字大乘妙典全部八本今
茲庚午之春請釋理運以勵乇願之月從
孟陬之杪至首夏之半悉終書寫之功即
便理運齎持之遠詣
上刹欽藏
寶殿蓋所以奉謝首目無窮之洪恩也伏惟
大慈大悲觀世音菩薩須彌之高不足以比
其德金輪之深不足以諭其恩嗚呼大哉
盛哉巍巍蕩蕩神之力忽拔衆生被厄之苦
種種方便之誓速與福聚無量之樂能
解枷鎖之難更施無畏之喜不羅推望
之禍害得衆宝住之利益慈意雲起甘
露雨降恵日普照定風成伏悲願之厚定
莫不會於心肝感應之述豈不傾萎藿之
誠庶幾後來乘飛龍之化得大鵬之志雖
升降天地而無毫釐之妨雖翺翔南北而
無尺寸之障又矯早避嬪疑之名永住安
樂之境况是一乘之德度越於諸聖教之
上牛車之力純勝於他羊鹿之功故今獻
此經以報其恩則志願之効豈其空乎
仰冀
大士倩垂照鑑
元禄三年五月令月
遠江守従五位下源朝臣直政稽首和南謹書

長谷寺 紺紙金泥法華経南部直政願文

八戸立藩
三百五十年
記　念

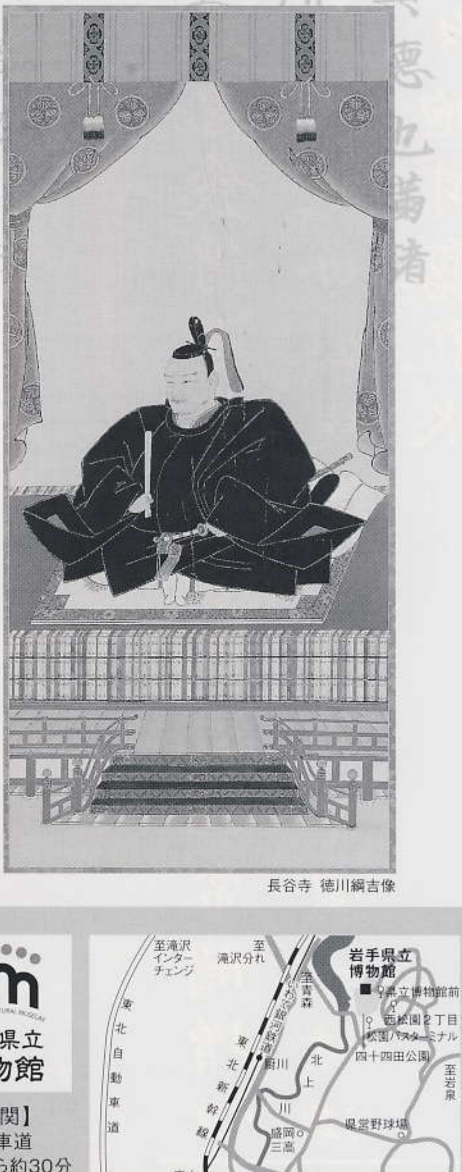
ふるさとは岩手
八戸藩の礎となった母と子
～二代藩主南部直政と生母霊松院～

岩手町川口出身の父と紫波町志和出身の母との間に生まれた娘（後の霊松院）は、甥を連れて直房に嫁ぐ。夫直房が二百石から八戸二万石の殿様になると、夫を助け、息子直政を後見し、その養子通信の体制が円滑に開始されるように三人の藩主を支え続けた。直政は学問好きで、親孝行。篤く仏教を信仰し、柳沢吉保とともに御側御用人となった。大学頭林信篤や将軍綱吉護持僧隆光などと親交があった二代藩主南部直政とその生母霊松院の事績を紹介します。

来迎寺 地蔵菩薩立像（仙寿院ゆかりの中里地蔵）（写真提供 青森県）

常光寺 狩野常信筆柳沢吉保像

唐招提寺西方院 隆光像



長谷寺 徳川綱吉像

■ 展示解説会　当日受付　要入館料

7月6日（日）・7月19日（土）・8月3日（日）
14:30～15:30

■ 講演・講座　当日受付　聴講無料

7月13日（日）13:30～15:00	「二人の藩主・南部重信と南部直政」 東北大学大学院文学研究科助教　兼平 賢治 氏
7月27日（日）13:30～15:00	「八戸城下の形成」 八戸市立図書館長兼市史編纂室長　藤田 俊雄 氏
8月 2日（土）10:30～12:00	「柳沢吉保と南部直政」 長崎大学准教授　福留 真紀 氏
8月10日（日）13:30～15:00	「霊松院（川口孝）と南部直政」 岩手県立博物館　主任専門学芸員　佐々木 勝宏

■ 郷土芸能　当日受付　鑑賞無料

7月12日（土）11:00～11:30・13:30～14:30
霊松院のふるさと
岩手町川口神楽・きつね踊り保存会

IWATE PREFECTURAL MUSEUM
岩手県立
博物館

【交通機関】
東北自動車道
盛岡ICから約30分

岩手県交通バス：JR盛岡駅前または盛岡バスセンターから松園バスターミナル行き終点下車、徒歩20分。または支線バスに乗り換え「県立博物館前」下車、徒歩5分。